



古代人のものづくり

— 千年前の生産遺跡 —

平成24年 1月6日(金)～10日(火)
午前10時～午後7時
江釣子ショッピングセンター・パルク
コスモホール

今回は、奈良～平安時代(約1000年前)に土器や金属を生産していた遺跡を紹介します。また、ビデオ上映や実際に触れる遺物も展示します。センター職員の解説もありますので、お気軽にお越しください。

【主な展示遺跡】

ふじさわ 藤沢遺跡(藤沢)	金属加工を行ったムラ。蕨手刀や各種銅・鉄製品が出土。
もとしゆくはば 本宿羽場遺跡(上江釣子)	金属加工を行ったムラ。鉄製品が多数出土。
たかまえだん 高前壇Ⅱ遺跡(相去町)	土器生産を行ったムラ。土器を焼いた穴を多数発見。
なんぶこうぎょうだんちない 南部工業団地内遺跡(相去町)	土器生産、炭焼を行ったムラ。土器を焼いた穴、炭窯などを発見。



▲高前壇Ⅱ遺跡・土器を焼いた穴

土器を野焼きした穴窯。焼くのに失敗し、ゆがんだり割れたりした土器約30点が、当時のままの姿で残っていた。土器の窯詰めされた様子が分かる例は、県内では初めて



◀本宿羽場遺跡・鍛冶遺構(かじいこう)復元模型

鍛冶職人の作業場が当時のままの形で見つかった。周辺から多数の鉄製品も出土

発掘調査報告会・講演会

1月7日(土)
午後1時～3時30分
日本現代詩歌文学館

◇発掘調査報告会(午後1時～)

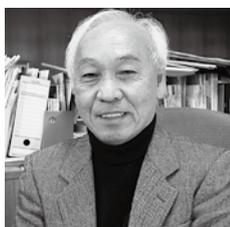
本年度調査した高前壇Ⅱ遺跡、岩崎城跡などを中心に、スライドを使って紹介します。

◇講演会(午後2時～)

『古代和我郡の窯業生産』

講師：伊藤博幸氏

(奥州市埋蔵文化財調査センター所長)



伊藤博幸・いとうひろゆき
1948年生。主な著作に「岩手県の歴史」(共著・山川出版)、「図説岩手県の歴史」(共著・河出書房新社)、『アテルイとエミシ』(共著・岩手出版)ほか、論文多数

▶藤沢遺跡・製銅遺構(せいどういこう)

銅を溶かし、製品に加工していた炉跡。平安時代の製銅遺構としては日本最北のもので、県内には例がない。周辺からは蕨手刀も出土



問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎65-0098

市の動き

＝ 市内放射線測定結果 ＝

■ 定点測定結果(毎週水曜日測定)
11月17日～12月14日(地上1mを測定)

(単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

本庁舎屋上	0.06～0.08
黒沢尻西小	0.07～0.07
黒岩小	0.07～0.08
飯豊学童保育所	0.06～0.07
豎川目運動場	0.03～0.04
江釣子小	0.06～0.06
北上総合運動公園	0.07～0.08

文部科学省による校庭、園庭の空間線量率の目安($1\mu\text{Sv}/\text{時}$)を下回っています。
※測定結果の詳細は、市のホームページに掲載しています。

■ 岩手県などによる検査結果(市内)

採取品目	採取月日	検査結果(Bq/kg)	
		放射性ヨウ素	放射性セシウム
さといも(二子)	9/2	不検出	不検出
りんご(口内)	9/2	不検出	不検出
米(市内14カ所)	9/12 9/14	不検出	不検出
大豆(市内産)	10/25	不検出	不検出

核種	暫定基準値(Bq/kg)	
放射性ヨウ素	牛乳・乳製品	300
	野菜類(根菜、芋類を除く)	2,000
	魚介類	
放射性セシウム	牛乳・乳製品	200
	野菜類	500
	穀類	
	肉・卵・魚・その他	

◎簡易放射線測定器を貸し出しています

- ▷ 貸出期間… 1日(開庁日の午前9時～午後5時)
- ▷ 測定内容・範囲… 空間放射線量率(マイクロシーベルト/時)・市内に限る
- ▷ 対象… 市内に住所がある個人・団体
- ▷ 貸出料金… 無料
- ▷ 申し込み… 事前に電話で予約。申請用紙と身分証明書のコピーを生活環境課へ

生活環境課 内線 3422～3424

東日本大震災復興対策本部
岩手現地対策本部長・津川祥吾
国土交通大臣政務官は11日、
北上市を訪問し、高橋市長、
鈴木市議会議長らと意見交換
を行いました。



津川祥吾復興対策本部岩手現地対策本部長(左)に要望書を提出する高橋市長

復興対策本部へ要望書を提出

意見交換は、きたかみ震災復興ステーションで行われ、市は震災直後の状況からこれまでの取り組みを説明。高橋市長は「沿岸の被災者らが市内で安心して暮らせるよう対応している。市でも困難なことがあるので要望し、東北全体の復興を目指したい」と、津川本部長に要望書を提出しました。

津川本部長は「新たなまちづくりで国が責任を持ちつつ、地域の意見も組み入れていきたい」と、政府全体で対応していくことを示しました。

要望書には、「内陸への避難者に対する居住支援」「復興特区における税制上の特例措置等の適用」ほか3項目が盛り込まれています。

東日本大震災支援情報

北上市沿岸地域被災者支援プロジェクトチーム

本庁舎5階第4会議室内
内線 3595・3596

【被災者支援・復興支援活動の取り組みを募集中です】
皆さんが行った取り組みを市民全体で共有し、みんなが地域を支える重要性を再認識するきっかけとして、グループでの支援活動を募集しています。応募いただいた取り組みは広報紙で紹介いたします。応募方法は情報ホットライ



ン(23ページ)をご覧ください。

【ふるさとカフェ開催】
北上市へ避難している皆さんの、出身地ごとの交流会を「きたかみ震災復興ステーション」で開催しました。多数の参加者が訪れ、震災当時の様子や共通の知人、北上市での生活状況など、さまざまなた話で親睦が図られました。同カフェは1月以降も開催する予定です。

市内の避難者状況 (12月9日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	11世帯	27世帯	82世帯	58世帯
4人	16人	55人	160人	140人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
17世帯	36世帯	21世帯	19世帯	10世帯
37人	71人	47人	55人	30人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

【生活再建支援金の申請期間延長】
東日本大震災により住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に支給される基礎支援金の申請期間は、平成25年4月10日まで1年間延長されました。